

平成21年 5月

第36回（平成21年度）

岩谷科学技術研究助成金候補者推薦要項

1. 助成の趣旨

エネルギー、環境に関する重要かつ独創的な研究開発に対して助成を行うことにより、科学技術の発展ならびに国民福祉の向上に寄与することを目的とします。

2. 助成の対象

(1) 助成課題

① 新しいエネルギー源に関する研究開発

太陽エネルギー、風力エネルギー、波力・潮力エネルギー、地熱、バイオマス、非在来型化石燃料など

② 新しい燃料に関する研究開発

水素、DME、GTLなど

③ エネルギーの変換、輸送、利用の高効率化、合理化、それらのシステムに関する研究開発

太陽電池、燃料電池、二次電池、燃焼技術、廃熱回収システムなど

④ エネルギー材料に関する研究開発

エネルギー貯蔵、変換、輸送、利用の高効率化に重要な役割を果たすと考えられる材料

⑤ 低温の利用に関する研究開発

液化ガスの利用、低温技術、食品・バイオ材料の貯蔵など

⑥ 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の安全性に関する研究開発

環境汚染防止対策、環境監視測定機器システム、クリーン化技術、地球温暖化防止対策、保全・防災機器システムなど

(2) 助成対象者

大学在籍者とし、個人またはグループ（代表研究者を明示のこと）で、上記の課題について現に研究開発に従事するか、または具体的に研究着手の段階にあり、研究開発の成果が2～3年以内に期待されるものとします。

3. 助成の内容

(1) 助成金額と件数

総額3,600万円、総件数18件とします。1件当たりの最高限度額は200万円です。

(2) 助成金の使途

研究目的を達成するために必要なものであれば、概ね自由としますが、謝礼金や研究成果発表のための会議参加費は申請額の20%以内に限ります。また、助成金受領後その使途が変更されるときは財団の承認を要します。なお、応募者が所属する機関の間接経費、一般管理費（オーバーヘッド）は認めませんのでご承知おきください。

(3) 助成金受領者の義務

助成金受領者は財団との間で覚書を交わし、これに基づいて研究を実施するものとし、研究完了時に研究報告書と収支報告書を提出していただきます。

4. 推薦方法

(1) 推薦者

国・公・私立大学の関連研究科長・学部長（または学長）

(2) 推薦件数

各大学とも、同一研究分野（部局）から2件以内でお願いします。（3件以上推薦があった場合は全て失格とすることがあります）

(3) 推薦書

所定の推薦書に必要事項を記入し、財団宛て4部（正1部、副（コピー）3部）提出してください。

なお、申請研究テーマに関連のある研究論文の抜刷1編×4部を添付し

(4) 推薦締切月日

平成21年7月31日（当日必着）

5. 選考方法

下記委員からなる選考委員会により選考され、評議員会の承認を得て理事長が決定します。

選 考 委 員

委員長	森 謙 治	(東京大学名誉教授)
副委員長	藤 森 啓 安	(財)電気磁気材料研究所顧問 (東北大学名誉教授)
委 員	秋 元 肇	(財)日本環境衛生センター (酸性雨研究センター) 所長
	池 上 詢	(京都大学名誉教授)
	石 田 愈	(神奈川工科大学客員教授) (東京工業大学名誉教授)
	奥 山 雅 則	(大阪大学大学院特任教授) (大阪大学名誉教授)
	齋 藤 泰 和	(東京理科大学教授) (東京大学名誉教授)
	古 崎 新太郎	(東京大学名誉教授)
	渡 辺 公 綱	(独)産業技術総合研究所 (バイオメディカル情報研究センター) 研究技術統括 (東京大学名誉教授)

6. 選考結果の通知

選考結果は、平成21年11月下旬、推薦者および応募者に対して文書により通知します。

7. 助成金の贈呈

助成金は、平成22年4月末～12月末の間に、分割により贈呈します。

8. 贈呈式

受領者に対する贈呈式は、平成22年3月8日(月) に行う予定です。

(注意事項)

1. 推薦書は黒インク、または黒ボールペンで明瞭に記入してください。
ワープロを使用しても差し支えありません。
2. 提出された推薦書および添付資料は返却いたしませんのでご了承ください。

推薦書送付先・連絡先

財団法人 岩谷直治記念財団

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-13-4

第3長岡ビル5階

TEL 東京 (03)3552-9960

FAX 東京 (03)3552-9961

第 35 回(平成 20 年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

	大 学 (所 属)	研究者名 (職 名)	研 究 ・ 開 発 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	名古屋大学 大学院工学研究科	准教授 板谷 義紀	非スラグ方式バイオマス・石炭気流層混合ガス化による水素製造	2,000
2	東北大学 大学院工学研究科	助教 大森 俊洋	エネルギー高効率化のための次世代 Co 基スーパーアロイの開発	2,000
3	京都大学 大学院理学研究科	准教授 小山 時隆	バイオ燃料・環境浄化に適したウキクサ類の遺伝的形質改良技術の開発	2,000
4	九州工業大学 大学院工学研究院	教授 金元 敏明	無理を可能にする新たな風力発電ユニットの実用化：フィールド実証試験	2,000
5	北海道大学 低温科学研究所	教授 河村 公隆	インドで採取したエアロゾルの化学組成と吸湿特性に関する研究	2,000
6	東北大学 金属材料研究所	准教授 木口 賢紀	巨大格子歪み場における酸化物イオン伝導促進メカニズム解明による低温動作型固体電解質の設計	2,000
7	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 小宮山正治	レーザー画像応用による希薄予混合燃焼場での燃料混合と火炎温度分布の瞬時同時計測法の開発	1,800
8	東京工業大学 精密工学研究所	助教 小山 大介	ポリ尿素圧電膜を用いた振動発電装置の開発	2,000
9	大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科	講師 渋谷 俊夫	植林苗生産における環境制御システムの高度化に関する基礎的研究	2,000
10	名古屋工業大学 大学院工学研究科	教授 曾我 哲夫	有機薄膜太陽電池の高効率化に関する研究	2,000
11	東京工業大学 グローバルエッジ研究院	特任助教 田嶋 稔樹	廃棄物を排出しない固体塩基を用いる環境調和型電解フローセルの開発	2,000
12	京都大学 化学研究所	助教 柘植 知彦	太陽エネルギーの効率的利用を目指した植物情報伝達機構の解析	2,000
13	大分大学 工学部	准教授 津村 朋樹	チタニアナノ粒子の窒化によるハイレート電力貯蔵デバイス電極材料の創製	2,000
14	北海道大学 大学院工学研究科	准教授 中村 祐二	省エネルギー・低エミッションを可能とする「超」希薄燃焼診断技術の開発	1,990
15	岡山大学 大学院自然科学研究科	助教 七戸 希	ハイブリッド超電導マグネットの状態観測システムの開発	2,000
16	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科	講師 西田 耕介	近赤外分光分析法に基づく燃料電池多孔質電極内水分の高感度測定と輸送制御	2,000
17	東京大学 大学院工学系研究科	講師 横関 智弘	FRP の薄層化による燃料貯蔵容器の軽量化及び安全性向上に関する研究	2,000
18	東京大学 大学院工学系研究科	准教授 吉田 亮	電子伝達回路を組織構造化した人工光合成ゲルの創製	2,000